

小松節子の ハートフル メッセージ



サンフレ エディスタ最終戦を観戦して

私が会長を務めるサンフレッチェ広島・東広島後援会では、サンフレッチェ広島(以下サンフレ)がエディオンスタジアムで最後の試合になった11月25日の対ガンバ大阪戦を観戦しました。西本博之県議や、中川修市議のサポートで、バス2台を貸し切り、子どもたちを含めた約70人の市民の方と一緒に、サンフレの節目となる試合を脳裏に焼き付けました。

スタンドには約3万人の方が駆け付け、声援を送られていました。クラブは大声援をバックに3-0で快勝。私も多くのサポーターと一緒に喜びを分かち合いました。後援会の大きな目的の一つに、サッカーを通じた

子どもたちの教育があります。この日の試合は、観戦した子どもたちに、スポーツの素晴らしさなど、多くのことを教えたことでしよう。

12月7日には、弊社がサンフレのスポンサー企業になっている縁で、DFの佐々木翔選手が、弊

社を訪ねてこられました。私も社員も、佐々木選手と言葉を交わしながら、佐々木選手の素の部分に触れることができ、改めて、社員一同、サンフレに熱い思いを抱きました。

サンフレが来季から本拠地となるエディオンピースウイング広島は、広島市の中心部に開業します。全天候型で国際試合にも対応できます。後援会として、今まで以上に、サンフレを支援していきたいと思っています。



メンテックワールドを訪問した佐々木選手(左)と握手を交わす小松社長